
はじめに

グローバル化の進展や技術革新とともに、高等教育を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。大学に対する社会の要求が多様化・複雑化する中、大学教職員の専門性を継続的に向上させることを目的とした「専門性開発：PD（Professional Development）」は急務の課題となっています。東北大学高度教養教育・学生支援機構は、平成22年（当時は東北大学高等教育開発推進センター）に文部科学省から教育関係共同利用拠点の認定を受け、国際連携を活用した大学教育力の開発などに取り組んできました。その活動のひとつとして、大学教職員の職能開発に役立つPDブックレットを刊行してまいりました。

本PDブックレット Vol.12では、海外留学プログラムの開発をテーマとしています。近年、世界的に国際流動が高まる傾向に反して、日本の若者が海外で学ぼうとしないことが「内向き志向」として国内外から指摘され、国際社会での日本人のプレゼンスや発言力が失われることが危惧されています。政府や関連機関、さらに各大学は学生の海外留学を促進するための様々な施策や制度、財政的支援策を打ち出しています。一方、各大学の現場では、試行錯誤を繰り返しながら海外留学プログラムを実施していますが、学生の海外での学びをより効果的なものにするための具体的な支援方法は広く共有されているとは言い難い面もあります。本ブックレットは、東北大学における海外留学プログラムの開発と具体的な実践を取り上げ、グローバル人材の育成に資する代表的な3つのプログラムの取り組みを紹介しています。変わりゆく時代の趨勢と学生のニーズに対応するため、異なる目的をもつ多様なカリキュラムを用意し、次世代を担うグローバル人材の育成を試みるものです。



本ブックレットは、高等教育機関において海外研修プログラムの開発を検討している、またプログラムの見直しなどを行っている全国の教職員を読者に想定し、海外留学プログラムを開発・実施するための実践的な方法や、現実的に直面した課題など、著者たちの日々の経験に基づいた具体的なノウハウがまとめられています。本ブックレットを参考にさせていただくとともに、皆様のご意見や感想などをお寄せいただければ幸いです。

東北大学 高度教養教育・学生支援機構長
滝澤 博胤

